安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品の名称	: ウォールシーラーEPO 主材A
製品コード	: 90730000A
会社名	: フジワラ化学株式会社
住所	: 〒799-1342 愛媛県西条市大新田94
担当部門	: フジワラ化学株式会社 社長室
作成者	: 矢野正徳
電話番号	: 0898-64-2421
FAX番号	: 0898-64-4034
E-mail	: info@fujiwara-chemical.co.jp
緊急連絡先	: 担当部門に同じ
製品の種類	: 弱溶剤系2液型エポキシ樹脂塗料 下塗 主剤
推奨用途及び使用上の制限	: 建築用、その他

2. 危険有害性の要約

分類の名称(分類基準は日本方式) : 該当しない

【GHS分類】

引火性液体		: 区分3
急性毒性	経口	: 区分に該当しない
	経皮	: 区分に該当しない
	吸入:ガス	: 分類対象外
	吸入:蒸気	: 区分4
	吸入:粉塵, ミスト	: 分類できない
皮膚刺激/腐食性		: 区分2
眼損傷性/眼刺激性		: 区分2
呼吸器感作性 個体/液体		: 分類できない
皮膚感作性		: 区分1
生殖細胞変異原性		: 区分に該当しない
発がん性		: 区分2
生殖毒性		: 区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)		: 区分1(中枢神経系、呼吸器系、肝臓、腎臓) 区分2(全身毒性)
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)		: 区分1(神経系、呼吸器)
誤えん有害性		: 分類できない
水生環境有害性 短期(急性)		: 区分2
水生環境有害性 長期(慢性)		: 区分2
オゾン層への有害性		: 分類できない

【GHSラベル要素】



危 険

【危険有害性情報】

- 引火性液体及び蒸気
- 皮膚刺激
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

安全データシート(SDS)

・臓器の障害のおそれ
・長期または反復ばく露による臓器の障害のおそれ
・水生生物に毒性
・長期断続的影響によって水生生物に毒性

【注意書き】

〈予防策〉
・容器を密閉しておくこと。
・火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。
・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
・取扱時には飲食や喫煙をしないこと。
・保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
・屋外または換気の良い場所のみで使用すること。
・取扱後は手をよく洗うこと。
・環境への放出を避けること。

〈応急措置〉
・火災の場合 : 粉末、炭酸ガス、泡消火剤で消火すること。水は使用しない。
・目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。
コンタクトを使用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。口をすすぐこと。
・皮膚等に付着した場合: 直ちに汚染した衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を大量の水や石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てをうけること。
・吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
・暴露又は暴露の懸念が有る場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
・漏出した場合 : 漏出物を回収すること。
・

〈保管〉
・涼しく換気のよい場所で施錠して、保管すること。

〈廃棄〉
・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分名	化学式	含有量	官報公示No(化審法)	CAS No.	備考
キシレン		1.4%		1330-20-7	PRTR1種・80
エチルベンゼン		0.1-1%		100-41-4	PRTR1種・53
ホワイトスピリット		40-50%		64742-82-1	
ミネラルスピリット		10-20%		8052-41-3	
1,2,4-トリメチルベンゼン		9.7%		95-63-6	PRTR1種・269
1,3,5-トリメチルベンゼン		2.4%		108-67-8	PRTR1種・297
クメン		0.1-1%		98-82-8	

4. 応急措置

目に入った場合:
・直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
・出来るだけ早く医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:
・付着物を布などで素早く拭き取る。

安全データシート(SDS)

・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
・外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合:
・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
呼吸が不規則か、止まっている場合は衣服をゆるめ、呼吸気道を確保した上で、人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受ける。
・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:
・誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
・嘔吐物は飲み込ませない。
・医師の指示による以外は無理に吐かせない。

5. 火災時の措置

使用可能消化剤
水[ ]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[ ]、その他[ ]

特定の消火方法 :
・水を消火に用いてはならない。指定の消火器を使用する。
・適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
・高温にさらされる密閉容器は水を掛けて冷却する。
・消火活動は風上から行う。

6. 漏出時の措置

・作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
・漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛り土で囲って流出を防止する。
・付近の着火源・
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い
・換気の良い場所で取扱う。・
・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
・工具は火花防止型のものを使用する。
・作業中は帯電防止型の作業服、作業靴を使用する。
・密閉された場所における作業は、充分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。
・皮膚、粘膜、又は衣服に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。
・取扱い後は手、顔等を良く洗い、休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まない。

保管
・日光の直射を避ける。
・火気、熱源から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止および保護措置

化学物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)

安全データシート(SDS)

キシレン	50ppm	100ppm
エチルベンゼン	20ppm	100ppm
1,2,4-トリメチルベンゼン	ー	25ppm
1,3,5-トリメチルベンゼン	ー	25ppm
クメン	ー	50ppm

設備対策

- 取扱い設備は防爆型(安全増型)を使用する。
- 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- 液体の輸送、汲み取り、撹拌等の装置についてはアースを取るような設備とする。
- 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とする。
- 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とする。
- タンク内部の密閉場所で作業をする場合は密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付ける。

保護具

目の保護 ; 取扱いには保護メガネを着用する。
皮膚の保護 ; 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
呼吸系の保護 ; 有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場合では、送気マスクを着用する。
その他 ; 静電塗装を行う場合は通電靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 :

- 物理状態 ; 液体
- 色 ; 黄褐色透明
- 臭い ; 溶剤臭あり

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲:

- 引火点 ; 34℃
- 溶解性 ; 水に不溶
- 密度 ; 0.8～1.0g/cm3

10. 安定性及び反応性

安定性 : 室温下での保存では安定性に問題はない。
危険有害反応可能性 : 製品自体は重合しないが、主剤と硬化剤を混合し、放置するとゲル化する。
避けるべき条件 : 加熱。密閉容器では圧力が異常に高くなり、破裂、引火の恐れがある。
混触危険物質 : 特に情報が得られていない。
危険有害な分解生成物 : 燃焼等により、CO、NOx等の有害性ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

皮膚刺激/腐食性 : 1,3,5-トリメチルベンゼン(区分2)、レソルシノール(区分2)トリエチレンテトラミン(区分1
キシレン(区分3)
眼損傷性/眼刺激性 : レソルシノール(区分1)、トリエチレンテトラミン(区分1)
1,3,5-トリメチルベンゼン(区分2B)、クメン(区分2B)キシレン(区分2)、
メチルイソブチルケトン(区分2)、ナフタレン(区分3)
皮膚感作性 : レソルシノール(区分1)、トリエチレンテトラミン(区分1)ナフタレン(区分1)
発がん性 : クメン(区分2)、ナフタレン(区分2)、メチルイソブチルケトン(区分2)
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露 : レソルシノール(区分1)、1,3,5-トリメチルベンゼン(区分3)
1,2,4-トリメチルベンゼン(区分2)、クメン(区分1,3)

安全データシート(SDS)

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露：	トリエチレンテトラミン(区分3)、ナフタレン(区分1,2) メチルイソブチルケトン(区分3)、キシレン(区分1,5) レソルシノール(区分1)、1,2,4-トリメチルベンゼン(区分2)、 キシレン(区分1)、メチルイソブチルケトン(区分1)、ナフタレン(区分2)

12. 環境影響情報

水生環境有害性短期(急性) ： レソルシノール(区分3)、1,2,4-トリメチルベンゼン(区分2)、
1,3,5-トリメチルベンゼン(区分2)、トリエチレンテトラミン(区分3)
クメン(区分2)、ナフタレン(区分1)、キシレン(区分3)

水生環境有害性長期(慢性) ： 1,2,4-トリメチルベンゼン(区分2)、1,3,5-トリメチルベンゼン(区分2)
トリエチレンテトラミン(区分3)、クメン(区分2)ナフタレン(区分1)、キシレン(区分3)

- 漏洩時、廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
- 特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。
- 本製品の分解性、蓄積性、魚毒性については情報を有していない。

13. 廃棄上の注意

- 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- 排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

14. 輸送上の注意

共通 ： ・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
・容器は漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

陸上輸送 ： 消防法、労働安全衛生法、毒物・劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。

海上輸送 ： 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 ： 航空法に定めるところに従う。

国連分類及び国連番号 ： クラス3(引火性液体) UN1263 指針番号128 容器等級Ⅲ

15. 適用法令

- 化学物質管理促進法(PRTR法)
第1種指定化学物質(1,3,5-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ-政令番号297、1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ-同296、
ﾄﾘｴﾁﾚﾝﾃﾄﾗﾐﾝ-同278、ｸﾒﾝ-同84)
- 労働安全衛生法 危険物 ： 引火性のもの
有機溶剤中毒予防規則 ： 第3種有機溶剤
通知物質(石油ﾅﾌｻ、ﾚｿﾙｼﾉｰﾙ、ﾄﾘｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｸﾒﾝ、ｷｼﾚﾝ、ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝ、ﾅﾌﾀﾚﾝ)
- 消防法 ： 第4類第2石油類(非水溶性液体)危険等級Ⅲ

16. その他の情報

主な引用文献

- (社)日本塗料工業会編 「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物用(塗料用)〕」第3版
- (社)日本塗料工業会編 「製品安全データシート ガイドブック」 第4版 追補版
- (社)日本塗料工業会編 「MSDS用物質データベース」 第4版 追補版
- 化学工業日報社 「化学物質管理促進法(PRTR・MSDS)対象物質全データ」
- 化学工業日報社 「労働安全衛生法(MSDS)対象物質全データ」

安全データシート(SDS)

・化学工業日報社 「毒物及び劇物取締法(MSDS)対象物質全データ」
・化学工業日報社 「化学品別 適用法規総覧」 増補新版
・化学工業日報社 「実務者のための化学物質等法規制便覧」 改定第2版
・(社)日本塗料工業会編 「塗料原料便覧」
・化学工業日報社 MSDS用語集
・NITE[独立行政法人 製品評価技術基盤機構] http://www.nite.go.jp/index.html
・日化辞Web[独立行政法人 科学技術振興機構(JST)]
http://nikkajiweb.jst.go.jp/nikkaji_web/pages/top.html
・原材料メーカーのMSDS、SDS

[注意]

本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改定いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。